



for adult only



TONHOH PROJECT FANBOOK

delusional logic



introduction



はじめまして。白田太です。
今回は東方 project ネタです。
前々からやりたいなーとは思っていたのですが
機会に恵まれなかったり時間がなかったり
でなかなか描けませんでした。
今回やっと出すことができ良かったというべきでしょうか。

キャラは表紙のとおり、レミリアと咲夜さんです。
紅魔郷の登場キャラは好きなんですよ。カッコよくて。
個人的には花映塚の小町&映姫様ペアだったりしますが。
あーこの2人もそのうち描きたいなあとか。

それでは本編へどうぞ。

知つてのとおり
私達吸血鬼の
主食は人間の血液

その曲の...
その曲の...

感情が昂ぶっている
時のもの程

その味は
甘美なものとなる

呼ばれた理由は
わかるわね



どろお...

こんなにお汁を
垂らして

うせーっ

もし訳...

咲夜は
ここをイジられるのが
好きなのよね

ふあ...
そんな事...っ

ほら
また嘘

メイドがはしたないと
主人も
そういう目で
見られてしまうじゃない

ひゃあ!?

あ...♡

あ...♡
あ...♡
あ...♡





主人の指だけ
使うことを許可するわ

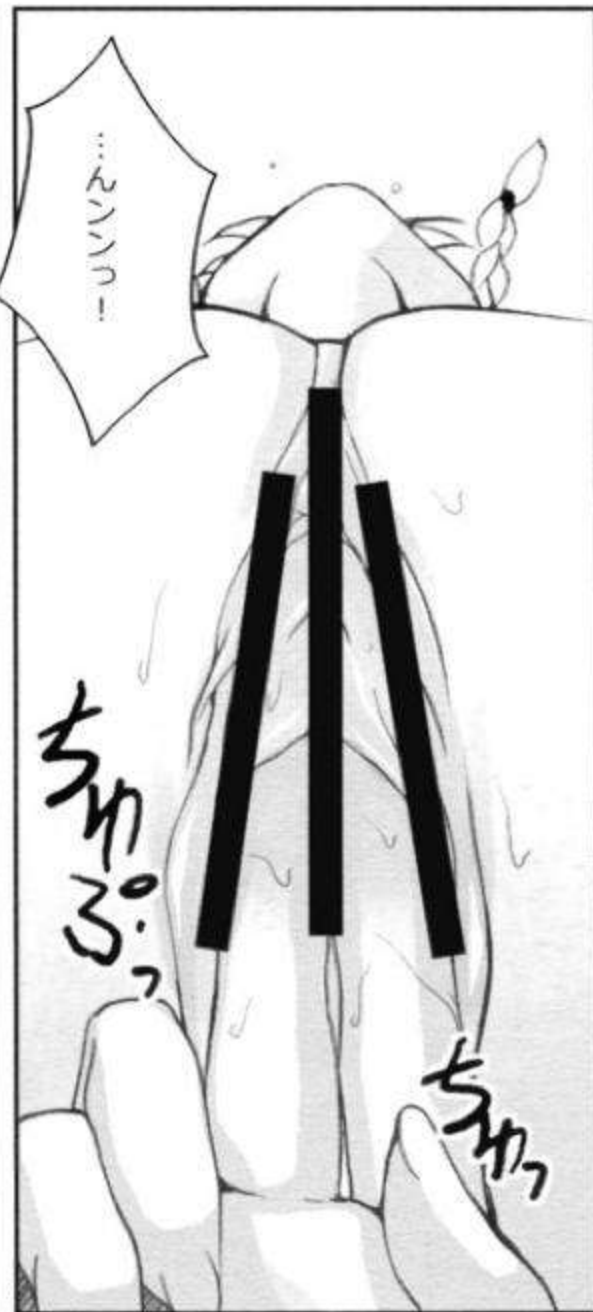
ドロン

1人で
果てて見せなさい

できるでしょ？
貴女なら



んああ
あああー！



…んんん…

ちゅるっ

ちゅっ



んっ…

んっ



ふあっ？
いえ！お嬢様の手は
ひんやりとしていて
とても心地良く…

ぽん

いつから貴女は
お茶汲みも満足に
できないメイドに
なったのかしら？



…熱いわ



お嬢様
お嬢様
お嬢様
お嬢様
お嬢様
お嬢様
お嬢様
お嬢様
お嬢様
お嬢様

咲夜



うわあっ
うわあっ
うわあっ

ハハハ

おっ
お嬢様あーっ

その日
幻想郷は紅茶色の霧で
包まれたそう



と、ここからはイラストのコーナーです。
最初は東方関連、某音楽サークルさんのところで描かせて
頂いたアレンジCDのジャケット絵です。

ヘッドフォンやレコードなどの音楽的アイテムを~との
指定があったので描くキャラを悩んだ記憶があります。
(ヘッドフォン? そもそも帽子率が高くてつけられるキャラ
がかなり限られているような…紫とかは無理だな…むう。)
だのなんだの考えているうちにいつも通りに。
パンクっぽい服装させておけば楽器持たせても浮いたりは…。
ちなみにレミィの得物は当初ギターでしたが色々あってボツ。

ズボンの咲夜さんとかどうかなーと思っていましたが
メイド服を着ていないメイド長はどう考えても
味噌の入ってない味噌汁です。本当にありがとうございました。

あとパチュリーはあの色であのシルエットあってこそだなあとか。
この人もかっこいいですね。

…色々あるみたいですが。

サンクリの時に表紙として使う予定だった絵。カリスマ急降下。
配布したペーパーにも使ったのにまた載せるのはどうか。
描いた後で腰のリボンを描き忘れたのに気がつきました。

お姫様だっこ。
エロ絵とか描いても別に恥ずかしいとは思わなくなってきましたが
何故かこれ描いてる時は恥ずかしくて仕方がなかったです。

妹様とも絡ませたりしたいけど未だに妹様が超えられなかったり。
あたり判定非表示だと心臓に悪いですね。

恥ずかしがりつつもギュッと握ってる、みーたーいーなー。





秋頃に GA Graphicさんのところで壁紙を描かせて頂きました。合計三枚で週毎に入れ替わるやつですね。

題材は自由とのことでしたが二転三転して大変でした。以前ゼロの使い魔の本も描きましたがああいったライトファンタジー的なものが好きなのですよ。「あーでも水着の女の子とかにしたほうが見栄えがいいしウケも良さそうだなあ。でも時期ハズレだなあ」とか「いっそチャイナやメイドみたいな飛び道具で…」とか。自由題材というものの難しさを痛感しました。

イラストの説明みたいなものは GAさんのところに載ってたりするのでそちらも要チェック！

…にしても線画だけだと上の絵はルイズみたいだ。



postscript

というわけで終わりの時間が近づいてきました。
如何でしたでしょうか？

男性キャラが出てこないエロは難しいですね。うむ。
何冊か本を出してはきましたが女性キャラオンリーという
のは初めてのようになります。
キャッキウフフな百合展開とかもいいんですけど難しい。

さて、来年参加予定イベントは今のところ「例大祭」
「COMIC1」あたりかなあとか思っております。
描くとしたら前者は文、後者は世界樹2あたりかな。
次回夏コミの申し込みもその二つのうちどちらかにな
りそうです。

それでは皆様また次の本でお会いしましょう。
良いお年をー。

白田太



誌名：delusional logic
著者：白田太
発行：waterwheel
発行日：2007/12/31
mail: sirodai@hkg.odn.ne.jp
hp: <http://www.wheel.blog.fc2.com/>

印刷：ねこのしっぽ様

無断転載・配布等を禁じます。





2007 winter waterwheel